

薬効・薬価リスト平成 19 年版 訂正

本書 419 頁掲載の「プロプレス錠 2」「同錠 4」「同錠 8」の「用法・用量の使用上の注意」について、「慢性心不全：投与開始時の収縮期血圧が 120mmHg 未満の患者，腎障害を伴う患者，利尿剤を併用している患者，心不全の重症度の高い患者は 2mg/日から開始するが（ ），4 週間を超えて行わない。」と抜粋しましたが，4 週間を超えて 2mg 投与を行わないのは，**低血圧関連の副作用に対する忍容性を確認する目的であるため**であり，（ ）の箇所の説明が抜けております。謹んでお詫び申し上げ，訂正させていただきます。

下記に追加記載をした貼り付け表を掲載しておりますので，ご活用いただきたく存じます。
（下線の箇所が追加記載をした部分です）

プロプレス錠 2	（武田）	2mg1 錠	49.40
			2149040F1026 / 610432011
" 錠 4		4mg1 錠	92.60
			2149040F2022 / 610432012
" 錠 8		8mg1 錠	180.30
			2149040F3029 / 610432013
" 錠 12		12mg1 錠	277.70
			2149040F4025 / 610432014

2149i 持続性アンジオテンシン 受容体拮抗剤 カンデサルタンシレキセチル

適応 高血圧症，腎実質性高血圧症。〔以下 12mg を除く〕
次の状態でアンジオテンシン変換酵素阻害剤の投与が適切でない場合 / 慢性心不全（軽症～中等症）。

注）慢性心不全：原則としてアンジオテンシン変換酵素阻害剤から切り替えて投与。

用法 高血圧症 1 日 1 回 4 ～ 8 mg，経口投与。必要により 12mg まで増量。腎実質性高血圧症又は腎障害を伴う高血圧症の場合は，1 日 1 回 2 mg より開始，必要により 8 mg まで増量。慢性心不全 1 日 1 回 4 mg，経口投与から開始。必要により 8 mg まで増量可。原則としてアンジオテンシン変換酵素阻害剤以外による基礎治療は継続。

注）慢性心不全：投与開始時の収縮期血圧が 120mmHg 未満の患者，腎障害を伴う患者，利尿剤を併用している患者，心不全の重症度の高い患者は 2 mg/日から開始。2 mg/日投与は，低血圧関連の副作用に対する忍容性を確認する目的なので 4 週間を超えて行わない。

禁忌 本剤（成分）に過敏症の既往歴 妊婦・妊娠している可能性の婦人